第２学年１組　特別の教科　道徳学習指導案

１　主題名 正しいと思うことを　Ａ　善悪の判断、自律、自由と責任

教材名　　「ある日の　くつばこで」出典　日本文教出版　「生きる力２」

２　ねらい　　　よいことと悪いことを自ら判別し、友達の立場を考えつつ学級のみんなが安心して生活するために、自分にとっても、友達にとっても正しいことを行おうとする気持ちや態度を育てる。

３　本時の指導

（１）準備：ワークシート、黒板掲示物

（２）指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学　　　習　　　活　　　動 | ・教　師　の　支　援　　○評　価 |
| つかむ　５分 | １　場面絵を見て考える。・何か話をしているね。・怒った顔しているね。・手前の子はなんだか困った感じだよ。ともだちがいけないことをしていたらどうしますか | ・導入に場面絵を用いることで、児童の関心を深めることができるようにする。 |
| ふ　　か　　め　　る　　　　３０分 | ２　「ある日の　くつばこで」の範読を聞き、話し合う。まり子さんは、くつをかくしたかずみさんをどう思っていますか・ひきょうなことだし、絶対にだめ。・けんかしていやな気分だったかもしれないけど、靴隠しはだめだと思うな。・仕返ししてやろうって思うことがよくないと思うな。・ぼくはかずみさんの怒れちゃう気持ちがよく分かる。・かずみさんの気持ちは分かるけど、やっぱりよくないことだと思う。まり子さんの心が晴れたのはなぜですか・迷ったけど、靴隠しはやっぱりだめだと思ったから。・ここで言わないと、ずっともやもやしたままになってしまうから。・かずみのために、言った方がいいし、自分もすっきりすると思ったからじゃないかな。・かずみは後で怒るかもしれないけど、また同じことをしたら嫌だし、まねする子が出たらもっと嫌だから。・靴を隠された子も嫌な思いをするから。きっとかずみもどきどきするし、それはかわいそうだよ。・何があったか知っていても、間違っていることは、きちんと間違っているよと教えてあげられる方がいい。 | ・範読後は教科書をしまうことで、自分の言葉で発表したり考えたりできるようにする。・意見を深めるために、かずみの「けんか」の内容を具体的に設定した補助資料を提示することで、嫌な思いをしたかずみの思いに寄り添うことができるようにする。・まり子の気持ちを、かずみの背景を知る前と知った後で分けて板書することで、迷いを自分事としてとらえることができるようにする。・切り返しの発問を用意し、思考を深めて価値に迫っていくことができるようにする。・正しいことを伝えようと決めた時のまり子の気持ちを考えることを通して、正しいと思うことをすることのよさについて考えを深めることができるようにする。・自分の立場と友達の立場の意見に分けて板書することで、自分のことも友達のことも大切にすることのよさに気付かせる。・色チョークを使ったり、キーワードを囲むことで、誰に対しても、どんな背景があっても正しいと思うことを言ったり行動したりすることが大切だと意識できるようにする。 |
| つなげる１０分 | ３　本時の振り返りを行う。・こわくてもだめなことはだめと言った方が、自分もすっきりするよ。・今までは、いけないことを見ても黙っていたけど、友達のためにならないから次は声をかけてみたいな。 | ・本日の学びを振り返ってワークシートにまとめ、全体で共有し、自分なりの学びを次へとつなげるようにする。○友達や級友のことを考えながら、正しいと判断したことを行っていこうとしている。（発言・ワークシート） |

（３）評価

・友達の気持ちも考えながら、よいことと悪いことを区別し、自信をもって正しいことを行おうという気持ちや、よくないことをしている友達にも働きかけていきたいという意欲を高めることができたか。　　　　　　　　　（発言・ワークシート）

４　主発問分析

まり子さんの心が晴れたのはなぜですか

予想される児童の意見、切り返し発問

|  |  |
| --- | --- |
| 教材 | ・まり子は、かずみが友達の靴を隠しているところを見てしまう。・靴は元の場所に戻したが、まり子の心はすっきりしない。・母親の言葉を思い出し、勇気を出そうと決心すると、まり子の心は晴れてきた。 |
| 価値への高まり | まり子さんの心が晴れたのはなぜですか・言おうって決めて心がすっきりしたから。・迷ったけど、言った方がいいよなって思って言うことにしたから。・正しいと思ったことをやろうって決めたから。「誰にも言わないでね」ってかずみさんが言っていたよね・その約束を守ったら、悲しい思いをする子がいるよ。・かずみさんは怒るかもしれないけど、だめなことはだめだから。・黙っていたら、ずっともやもやしちゃうかもしれない。・わけを話せば、けんかしてもきっとまた仲良くできると思う。・靴隠しがばれないかかずみも、どきどきするだろうし、隠された子も嫌な思いをしているだろうから、どっちのためにもならない。まり子さんはかずみさんがかわいそうだと思わなかったのかな・かわいそうだけれど、仕返しをするのはよくない。・もちろんかずみはかわいそうだけれど、靴を隠された子だってかわいそうだよ。・怒れちゃったり悔しかったりした気持ちは分かるけれど、靴を隠すことはやっぱりよくないと思う。・自分が悲しいからって友達も悲しませたらだめだよ。・何があったか知っているけれど、最後はみんなのためになることをしようと思ったんじゃないかな。 |
| ねらいとする価値 | ・背景や理由によって惑わされずに、自分でよいことと悪いことの区別をし、行動しようとする。 |
| 第1学年及び第2学年 | よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。 |
| 第3学年及び第4学年 | 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。 |
| 第5学年及び第6学年 | 自由を大切にし、自立的に判断し、責任のある行動をすること。 |